

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで ※決算期変更のため2017年3月期は2016年7月1日から2017年3月31日の9ヶ月決算
定時株主総会	毎年6月
基準日	毎年3月31日
中間配当を行う場合の基準日	毎年9月30日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先(お問い合わせ先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 TEL 0120-782-031(フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
住所変更等のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。 なお、証券会社等に口座がないため特別口座を開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
公告方法	電子公告により行います。ただし、電子公告によることができない事故その他やむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載する方法により行います。
公告掲載サイトアドレス	http://www.garage.co.jp/ja/ir/public_notice/
上場取引所	東京証券取引所 市場第一部
銘柄コード	4819



株式会社デジタルガレージ

〒150-0022 東京都渋谷区恵比寿南三丁目5番7号

【お問い合わせ先】 ☎03-6367-1111

【当社Webサイト】 <http://www.garage.co.jp/ja/>

ホームページのご案内

当社ホームページではIR情報のほか、デジタルガレージグループに関する情報をリアルタイムで紹介しております。ぜひご覧ください。



当社Webサイト
<http://www.garage.co.jp/ja/>



当社Webサイト IRページ
<http://www.garage.co.jp/ja/ir/>



Business Report

第21期 2016年6月期



IT / MT / FT × OPEN INNOVATION

Incubation Technology Segment



Marketing Technology Segment

Financial Technology Segment



Media Incubation Segment



Digital Garage Group

2016年6月期決算サマリー ~グループ事業進捗とDG Labの始動~

FYE June 2016 Financial Report Summary - Group business updates and launch of DG Lab -

当社は2016年5月に東証JASDAQから東証一部に移籍しました。
これも株主の皆様のご支援があってこそと認識しております。
デジタルガレージグループは、今後も世界を変え世の中の役に立つ事業を創造してまいります。
引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

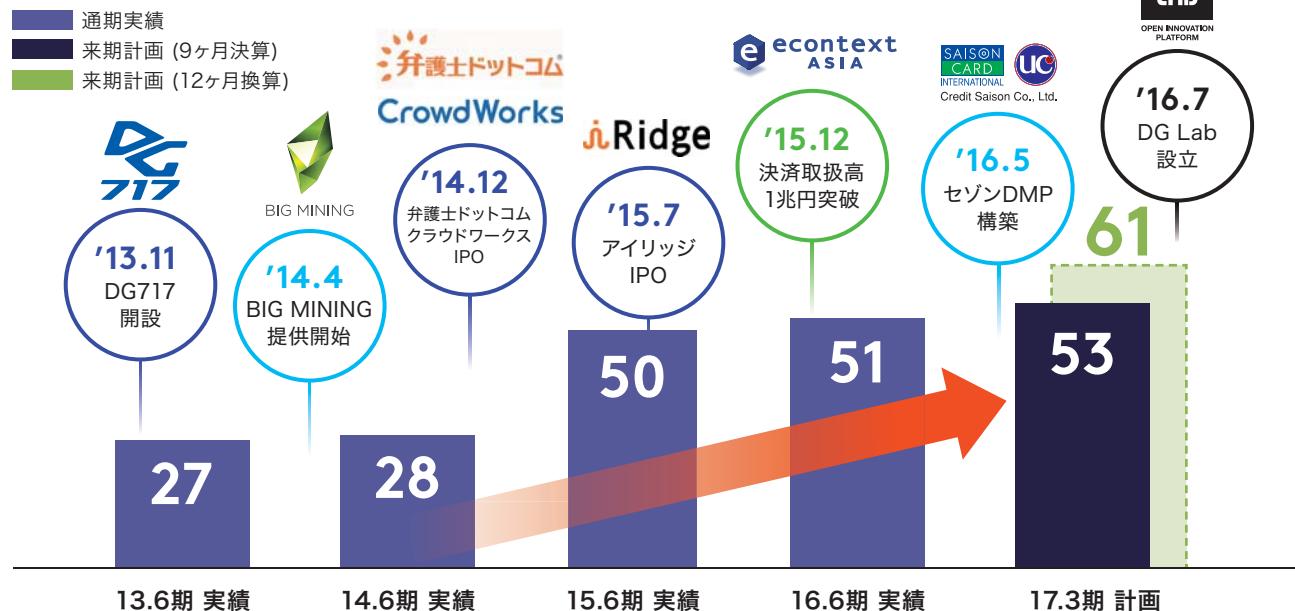
In May 2016 Digital Garage moved its stock market from JASDAQ (standard) to the First Section of the Tokyo Stock Exchange. This could never have happened if it were not for the great support from our stakeholders all over the world. As we have done for the past 20 years since our foundation, Digital Garage will strive to create businesses that will change and benefit the world.



代表取締役
社長執行役員グループCEO
林 郁



【当期純利益の推移】(単位:億円 / 100M JPY)



【2016年6月期 決算ハイライト】 [FY16.6 Financial Highlights]

6期連続の増収増益を達成 Achieved 6 years continuous growth in both sales and profit

2016年6月期は、売上高43,763百万円(前期比14.9%増)、営業利益4,201百万円(同12.6%減)、税金等調整前当期純利益7,574百万円(同18.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益5,165百万円(同1.7%増)となりました。

売上高は、期初予想の41,000百万円を大幅に上回る結果を残すことができました。これは、主にMT(マーケティングテクノロジー事業)において、スマートフォン/アプリ領域の広告が牽引し大幅増収を達成したことによります。

利益面では、MT、FT(フィナンシャルテクノロジー事業)が、共に30%を超える大幅な増益を達成することができました。反面、IT(インキュ

ベーションテクノロジー事業)については、期末の金融資本市場の一時的な混乱の影響により、同セグメントは計画未達となりました。また、急速な円高進行により、為替差損を計上したことも影響いたしました。

次期となる2017年3月期は、6月から3月への決算期変更に伴う9ヶ月の変則決算となります。決算期変更は、グループの決算期を統一することにより、効率的な事業運営の推進を図ること、適時適切な経営情報の迅速な把握と開示、さらに将来的な国際財務報告基準(IFRS)導入に向けたものです。9ヶ月となりますが、年換算で、前期比14%増収、同18%当期純利益の増益を目指しており、実質過去最高益更新を見込んでおります。

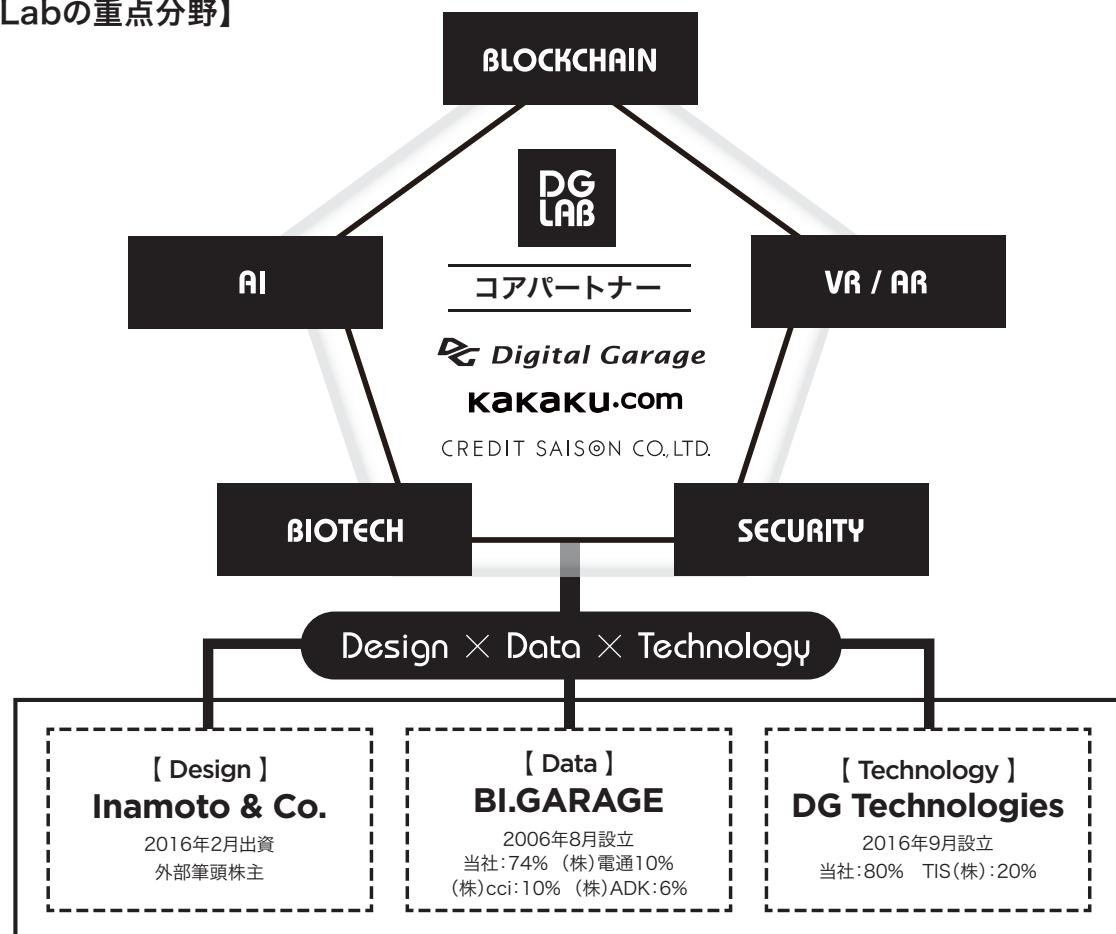
(単位:百万円 / JPY in Millions)	2015.6期	2016.6期	前期比		2017.3期
	(通期実績)	(通期実績)	(比率%)	(金額)	(9ヶ月) (業績予想)
売上高	38,087	43,763	+14.9	+5,675	37,500
営業利益	4,809	4,201	-12.6	-608	
営業外収益	3,736	3,031	-18.9	-704	
持分法投資利益	2,080	2,406	+15.6	+325	
為替差益	1,090	-	-	-1,090	
営業外費用	936	1,040	+11.1	+104	
為替差損	-	689	-	+689	
経常利益	7,610	6,193	-18.6	-1,417	
特別利益	2,463	1,392	-43.5	-1,070	
関係会社株式売却益	-	521	-	+521	
事業譲渡益	23	706	-	+683	
税金等調整前当期純利益	9,248	7,574	-18.1	-1,674	7,100
法人税等	3,855	2,385	-38.1	-1,469	
親会社株主に帰属する当期純利益	5,081	5,165	+1.7	+83	5,300

カカコム及びクレディセゾンと共同でオープンイノベーション型の研究開発組織「DG Lab」を設立

～ 2020年に向け、ブロックチェーンや人工知能、VR/ARなどの分野で次世代事業を創出へ～

With Kakaku.com and Credit Saison establish open innovation-based R&D organization "DG Lab" ~Preparing for 2020, creating next-generation business with Blockchain, AI, and VR/AR~

【DG Labの重点分野】



※(株)cci: (株)サイバー・コミュニケーションズ、(株)ADK: (株)アサツーティ・ケイ

「DG Lab」はカカコム、クレディセゾンの賛同を得て2016年7月4日に正式に発足しました。「ブロックチェーン」「人工知能」「VR/AR」「セキュリティ」「バイオテクノロジー」を重点分野とし、オリンピックの開催を見据えた2020年までを第1フェーズとした活動をすでに開始しています。

DG Lab 中核3社

【協賛パートナーの想定分野】

広告	流通/物流	自動車	化粧品/医薬品
家電大手	放送/コンテンツ	カード/金融/証券	ゲーム
通信キャリア	不動産	空運	その他

【事業連携を予定している企業】

株式会社アイリッジ	株式会社大和証券グループ本社	株式会社パルコ	株式会社横浜銀行
株式会社講談社	株式会社電通	株式会社BI.Garage	株式会社りそな銀行
SONY CSL	株式会社電通サイエンスジャム	弁護士ドットコム株式会社	他、複数社の参画を予定(50音順)

※SONY CSL: 株式会社ソニーコンピュータサイエンス研究所

各セグメントと連携した取り組みについては次ページ以降参照 →

「DG Labファンド」を立ち上げ、グループの投資事業を強化

Establishment of "DG Lab Fund" to accelerate DG group investment business

投資残高は111億円まで拡大 | investment balance grew to 11 B JPY

インキュベーションテクノロジー事業では、国内外のベンチャー企業への投資及びマーケティングや決済といった当社グループ内の事業との連携による投資先の育成などを行っております。

2016年6月期においては、金融資本市場の混乱に伴い、一部株式の売却時期を見直したことにより計画未達となりましたが、引き続き厳選した投資を継続し、投資残高は111億円まで拡大しました。

また、DG Labが重点領域とする5分野におけるスタートアップ企業への投資を目的として、大和証券グループと「DG Labファンド」を立ち上げました。DGインキュベーションに、DG Labファンドを加え、出資規模と投資分野の両方を拡大し、DGグループの投資事業に厚みを増すとともに、日本発のイノベーションを民間からの活力によって、加速させてまいります。

セグメント売上 Segment sales

63 億円 前期比 Δ 15%

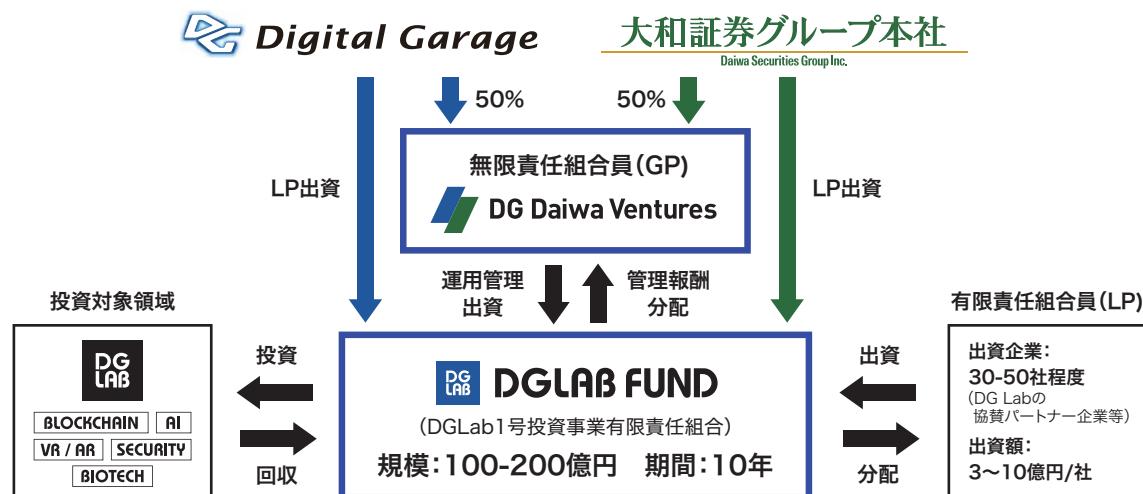
投資残高 Investment balance

111 億円

投資額 Amount invested

50 億円

「DG Labファンド」の立ち上げ



売上・利益共に前期比30%超の成長を達成

Achieved + over 30% YoY growth in both sales and profit

「DG Lab」と連携し、データサイエンス事業を強化 | collaborating with "DG Lab" to strengthen data science business

マーケティングテクノロジー事業におきましては、ウェブとリアルを融合した総合プロモーション及びインターネット広告等のウェブマーケティング、ビッグデータを活用したデータマネジメントビジネスを行っております。

2016年6月期においては、引き続きスマートフォンアプリ領域の広告が順調に拡大したことが牽引し、売上高・利益共に前期比30%超

の成長を達成しました。

中長期的な取り組みとしては、DG Labにおける人工知能領域の研究開発を、BI.Garageが手がけるデータサイエンス事業へ応用していく予定です。具体的には、クレディセゾンやカカココム、電通グループの保有するデータを、パートナー企業が有する様々なデータに組み合わせ、人工知能で分析した結果に基づくサービスやビジネスを開発していくことなどを検討しています。

セグメント売上 Segment sales

210 億円 前期比 $+31\%$

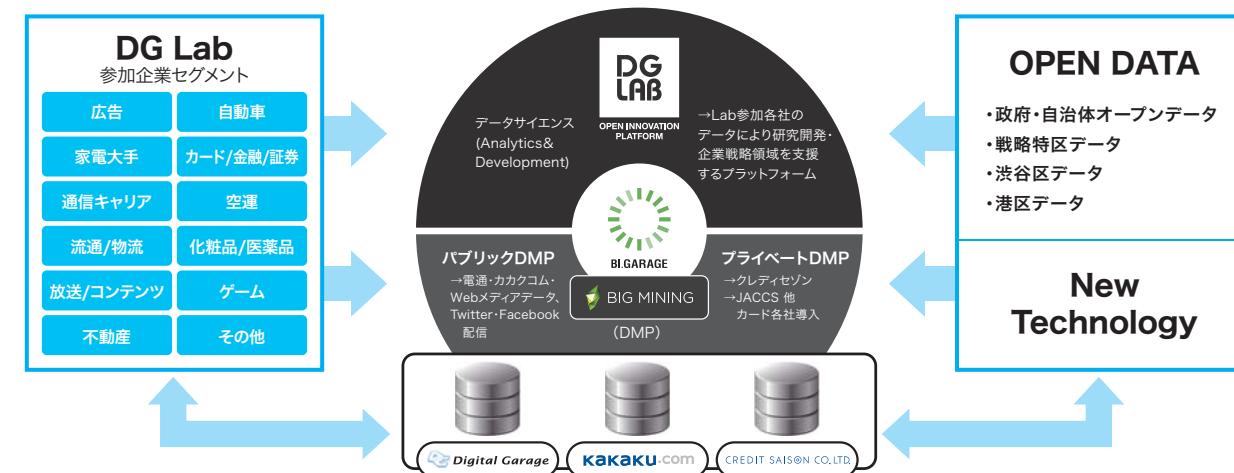
パフォーマンスアド売上 Performance-based ad sales

151 億円 前期比 $+49\%$

スマホ・アプリ領域売上 Smartphone app domains

39 億円 前期比 2.2 倍

BI. Garageの戦略とVISION ~DG Labと連携したデータサイエンス事業のオーバービュー~



※BI.Garage: 株式会社電通とデジタルガレージが合併で設立した戦略子会社。グループ各社が蓄積したデータを活用したデータサイエンス事業を行っており、DG Labと連携してデータ関連事業の研究・開発を支援します。

決済取扱高は1兆1,500億円を突破

Exceeded 1.15 trillion JPY in annual transaction volume

グループ内の経営資源の効率化により営業利益は大幅増益 | managing group resources efficiently helped boost op income

フィナンシャルテクノロジー事業におきましては、Eコマース(EC)をはじめとするBtoCの商取引に必要な不可欠なクレジットカード決済やコンビニ決済等の電子決済ソリューションの提供を行っております。

2016年6月期においては、決済総取扱高が市場成長率を大幅に上回って成長し、1兆1,500億円を超えて拡大しました。また、

グループ内資源の効率化の推進により営業利益は前期比35%増と成長しております。

中長期の取り組みとしては、ブロックチェーン技術を活用したポイント交換システムや、地域通貨のプラットフォーム、スマートコントラクトの基盤技術などの開発を予定しております。これらの実証実験を、Blockstream社と連携し、DG Labで進めてまいります。

セグメント売上 Segment sales

163 億円 前期比 +13%

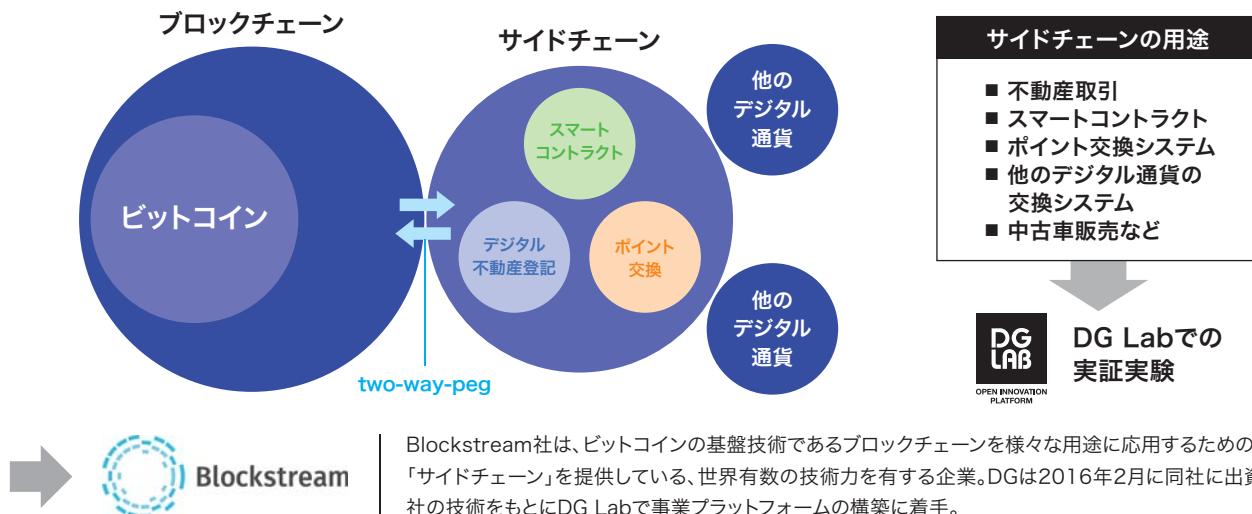
年間決済取扱高 Amount of annual transactions

1.2 兆円 前期比 +18%

年間決済取扱件数 # of annual transactions

2.3 億件 前期比 +19%

ブロックチェーン技術による将来への布石

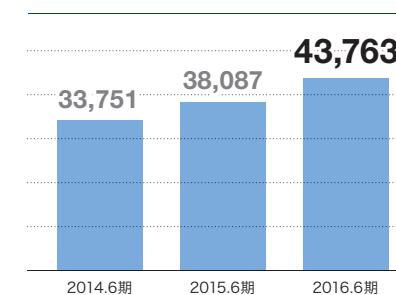


業績ハイライト Financial Highlights

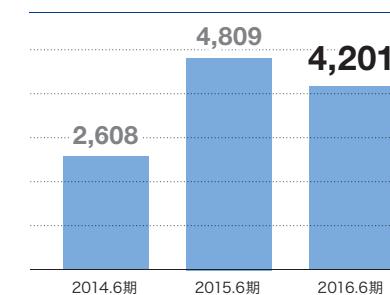
連結業績の推移 Consolidated Results

(単位:百万円 / JPY in Millions)

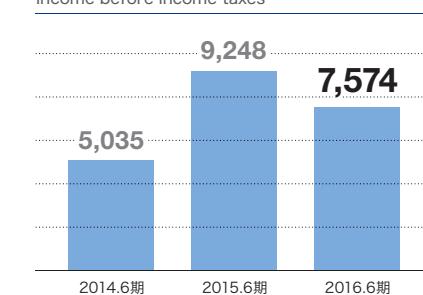
売上高 Net sales



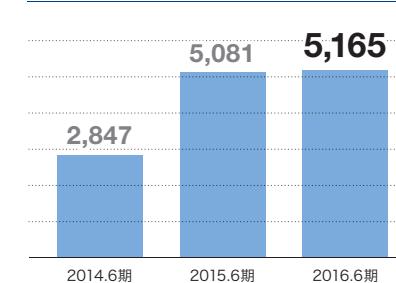
営業利益 Operating income



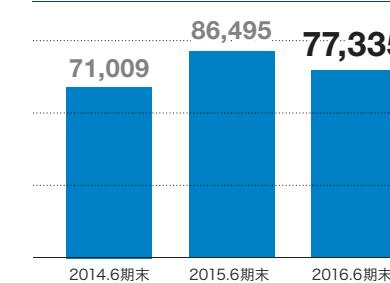
税金等調整前当期純利益 Income before income taxes



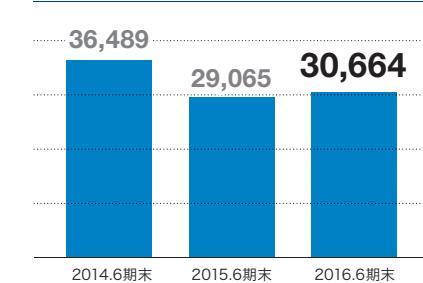
親会社株主に帰属する当期純利益 Net income attributable to owners of parent



総資産額 Total assets



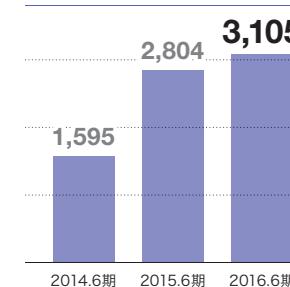
純資産額 Net assets



セグメント税金等調整前当期純利益 Income before income taxes by segment

(単位:百万円 / JPY in Millions)

IT



MT



FT



MI



❖ 連結貸借対照表 (要旨) Consolidated Balance Sheet Summary

(単位:百万円 / JPY in Millions)		2015.6期末	2016.6期末	前期末比 (金額)	主たる変動要因/備考
流動資産	Current assets	57,742	48,324	-9,418	
現預金	Cash and deposits	30,956	15,703	-15,252	借入返済及び新規投資、法人税と配当金の支払
未収入金	Receivables	11,646	13,946	+2,299	決済事業関連科目
金銭の信託	Money held in trust	3,120	2,592	-527	決済事業関連科目
営業投資有価証券	Operational investment securities	8,208	11,164	+2,956	新規投資、投資先上場に伴う時価評価等
固定資産	Fixed assets	28,752	29,011	+259	
投資有価証券	Investment securities	14,220	14,844	+623	営業投資有価証券への一部区分変更、持分法投資利益の取込、投資先株式の時価評価等
のれん	Goodwill	6,237	5,765	-471	
資産合計	Total assets	86,495	77,335	-9,159	
流動負債	Current liabilities	50,623	30,187	-20,436	
預り金	Deposits	20,998	21,876	+877	決済事業関連科目
短期借入金	Short-term borrowing	23,533	3,200	-20,333	長期低金利借入にシフト
固定負債	Fixed liabilities	6,805	16,484	+9,678	
長期借入金	Long-term borrowing	5,546	15,370	+9,824	
負債合計	Total liabilities	57,429	46,671	-10,758	
純資産	Net assets	29,065	30,664	+1,599	
株主資本	Shareholders' equity	24,640	28,610	+3,969	
資本金	Common stock	7,426	7,435	+8	
資本剰余金	Capital surplus	2,854	2,825	-28	
利益剰余金	Retained earnings	14,429	18,419	+3,989	
その他の包括利益累計額	Accumulated other comprehensive income	4,002	1,502	-2,500	
有価証券評価差額金	Unrealized gains on securities	2,585	138	-2,447	
負債・純資産合計	Liabilities / Net assets	86,495	77,335	-9,159	

資産効率 / 資本効率を意識した
財務戦略を推進

	'15.6期	'16.6期
ROE	17.2%	17.6%

❖ 会社情報

会社概要

(2016年6月30日現在)

商号 株式会社デジタルガレージ 従業員 (単体) 312 名
設立 1995年(平成7年)8月17日 (連結) 521 名

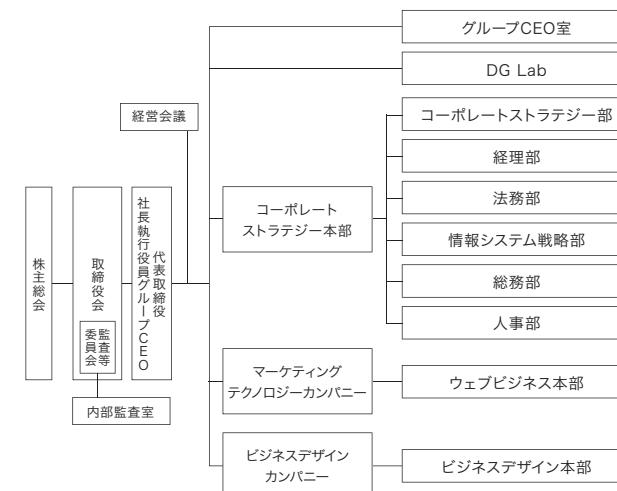
役員

(2016年9月29日現在)

代表取締役 林 郁 取締役 藤原 謙次
取締役 六彌太 恭行 取締役 大村 恵実
取締役 曾田 誠 取締役(監査等委員) 牛久 等
取締役 踊 契三 取締役(監査等委員) 坂井 眞
取締役 田中 将志 取締役(監査等委員) 井上 準二
取締役 伊藤 穰一 取締役(監査等委員) 牧野 宏司

組織図

(2016年9月29日現在)



株式情報

(2016年6月30日現在)

発行可能株式総数: 120,000,000株 議決権総数: 470,287個
発行済株式総数: 47,289,200株 株主数: 9,621名

大株主

(2016年6月30日現在)

	持株数(株)	持株比率(%)
林 郁	6,773,100	14.40
(株)電通	3,300,000	7.02
日本トラスティ・サービス信託銀行(信託口)	2,962,600	6.30
TIS(株)	2,364,500	5.03
ザバンク オブ ニューヨーク 133524	1,790,100	3.81
CBNY-GOVERNMENT OF NORWAY	1,294,666	2.75
日本マスタートラスト信託銀行(信託口)	1,196,800	2.54
ジェーピー モルガン チェース バンク 385166	1,088,200	2.31
NORTHERN TRUST CO.(AVFC)RE IEDU UCITS CLIENTS NON LENDING 15 PCT TREATY ACCOUNT	1,058,300	2.25
資産管理サービス信託銀行(証券投資信託口)	1,039,000	2.21

※持株比率は自己株式(256,800株)を控除して計算しております。

株式分布状況

(2016年6月30日現在)

株主数

外国人	1.90% (183名)
その他国内法人	1.03% (99名)
証券会社	0.49% (47名)
金融機関	0.21% (20名)
個人・その他	96.36% (9,271人)
自己名義株式	0.01% (1名)

株式数

証券会社	3.31% (1,565,006株)
外国人	36.05% (17,048,383株)
その他国内法人	14.77% (6,985,200株)
自己名義株式	0.54% (256,800株)
個人・その他	31.84% (15,057,411株)
金融機関	13.49% (6,376,400株)